



亀岡市立詳徳小学校 学校だより  
令和4年度 最終号

令和5年3月24日発行 0771-24-5669

## 令和4年度 教育活動の修了

春分を過ぎ、各地から桜の開花情報が届き、本校の正門横の桜も薄桃色の花びらが開いてきました。厳しい冬をじっと耐え、その命を吹き戻すかのように、一斉に咲き出した桜のもと、昨日、令和4年度卒業証書授与式を挙行いたしました。厳かな雰囲気の中、6年間の成長が伺える立派な態度で、46名の卒業生は巣立っていきました。

詳徳小のリーダーとして、委員会活動をはじめ、なかよし班活動等では下級生を優しく導き、一生懸命にこの学校を支えてくれた6年生。その存在はとても大きく、温かく、そして優しく。6年生のお陰でみんなが安心して毎日を過ごすことができました。6年生の誠実さと責任感の強さを、本校の伝統として、在校生に大切に守り受け継いでほしいと思います。46名の卒業生が、未来への夢と希望を胸に、これからの中学校生活で活躍されますことを心から願います。

さて、本日、令和4年度修了式並びに進級式を行いました。本当に子どもたちはこの1年間で大きくたくましく成長しました。詳徳小スポーツフェスティバルや学習発表会等では、一人一人の力を発揮するとともに、集団として同じ目標に向かって力を合わせることの楽しさや達成感を味わうことができました。生き生きとした表情の子ども達を多くの場面で見ることができ、改めてともに学ぶことの大切さを感じた思いでした。

1年間の学習を終えるにあたり、子どもたちに、強くしなやかであってほしいという願いをこめて、竹の話をしました。竹は、たくさんの雪が積もっても、強い風が吹いても折れずにしなやかに曲がり、そしてまたもとに戻ろうとします。竹が強くしなやかなのは、節があるからです。たくさんの節が竹を強くし、しなやかさを作り出しています。節をつくっている間、成長が止まっているように見えますが、実は多くの成長点の一つ一つが一斉に活動しています。次の成長に向けて着実に準備をしているのです。私たちも節目を大切にしてきました。1年間で振り返り、次の目標に向かう意欲を高める良い機会として、年度が変わるこの時期を大切にしてほしいと願います。もう一つ、竹の強さとしなやかさを作り出しているのが、地下茎です。竹は地中にしっかりと根を張り、さらにその根はつながりあっています。一本では弱いかもしれませんが、互いに根で繋がり合っていることで、強くなるのです。私たちも、多くの人とのつながりの中で生きています。子どもたちも、多くの友達や他学年の児童とのつながりの中で学習をしています。一人ではできないことも、みんなと力を合わせるからできる体験を積んでいければと思います。一人一人の節目を大切に、自分の成長を振り返り、新しい学年での一歩を自信と希望を持って踏み出せることを願っています。強くしなやかに。

保護者の皆様、地域の皆様、各関係機関や各種団体の皆様には、本校の教育推進に広くそして厚く、ご理解とご支援を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。我々教職員一同は、詳徳小学校のさらなる発展並びに子どもたちの大きな成長を目指し、力を合わせて新年度も教育活動の充実と発展に全力で努めて参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

亀岡市立詳徳小学校長 平井 眞理子

## お知らせ

このたび、本校が

「子供の読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰」

を受賞しました。お世話になった皆様に感謝申し上げますとともに、今後も読書活動を推進していきたいと思っております。